



中央が優勝したヘーズルウッド莉花さん。左は2位の関根晴香さん、右は3位の伊藤優太朗さん＝加須市の県立不動岡高校

県高校英語弁論大会

ヘーズルウッドさんが優勝

高校生が自分の意見や思いを英語で聴衆に発表する第73回「県高校英語スピーチコンテスト」(県高校英語教育研究会主催)が14日、加須市の県立不動岡高校で開かれた。審査の結果、「Inside or Outside?」を演題にした伊奈学園総合2年のヘーズルウッド莉花さんが優勝した。

県内から30校30人が参加。テーマは自由。5分30秒以内でスピーチを行い、英語力や表現力などが審査された。

ヘーズルウッドさんは、自身が主体的に行動しているのか、受け身的に行動しているのかを分析。「日常生活全般において、これまでよりもっと主体的に行動を起し、そう思っている」と主張した。

2位の市立浦和2年、関根晴香さんは「In Our Shoes」が演題。直訳は「自分の靴を履く」だが、靴は比喻で、立場を意味している。「コロナ禍でもしっかりと生きている」と主張した。3位の不動岡2年、伊藤優

太朗さんは「マスクが明らかにしたもの」と題した。「日本ではマスクをせざるを得ない同調圧力がある。強すぎる生きづらくなる。相手のことを考えたい」と主張した。ヘーズルウッドさんと関根さんは12月10日に山梨県で開かれる関東大会に出場する。

(江利川義雄)

入賞者13人は次の通り。(敬称略)

- ①ヘーズルウッド莉花(伊奈学園総合)
- ②関根晴香(市立浦和)
- ③伊藤優太朗(不動岡)
- ▽優秀賞 安田若菜(朝霞西)、チヨウイジン(さいたま市立大宮国際中等教育学校)、シレストアスヒナ(朝霞)
- ▽優良賞 染谷優利佳(大宮光陵)、長谷川愛菜(大宮高崎真菜(浦和西)、村田実里(所沢北)▽特別賞 酒井颯汰(春日部)、関口瑠里(川口市立)

佐藤夢美(大妻嵐山)